

記 載 例

資料編

自己評価のためのチェックリスト

【網羅性の評価】

総括表

記載のない理由等

	記載の有無	重要な項目	記載していない理由	網羅性	正確性	実質性	中立性	備考()
基本的項目								
(1)経営責任者の緒言(総括及び誓約を含む)	有・無		有・無					
(2)報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野)	有・無		有・無					
(3)事業の概況	有・無		有・無					
事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括								
(4)事業活動における環境配慮の方針	有・無		有・無					
(5)事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	有・無		有・無					
(6)事業活動のマテリアルバランス	有・無		有・無					
(7)環境会計情報の総括	有・無		有・無					
環境マネジメントに関する状況								
(8)環境マネジメントシステムの状況	有・無		有・無					
(9)環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況	有・無		有・無					
(10)環境に配慮した新技術等の研究開発の状況	有・無		有・無					
(11)環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	有・無		有・無					
(12)環境に関する規制遵守の状況	有・無		有・無					
(13)環境に関する社会貢献活動の状況	有・無		有・無					
事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況								
(14)総エネルギー投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(15)物質投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(16)水資源投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(17)温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策	有・無		有・無					
(18)化学物質排出量・移動量及びその低減対策	有・無		有・無					
(19)総製品生産量又は販売量	有・無		有・無					
(20)廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	有・無		有・無					
(21)総排水量及びその低減対策	有・無		有・無					
(22)輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策	有・無		有・無					
(23)グリーン購入の状況及びその推進方策	有・無		有・無					
(24)環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況	有・無		有・無					
社会的取組の状況								
(25)社会的取組の状況	有・無		有・無					

評価手順

記載の有無を形式的にチェックします。
 利害関係者の期待やニーズより評価実施者が重要な項目かどうかを検討します。
 重要な項目が対象となります。
 問題がなければ「○」を記入します。
 問題がある場合は、重要な項目で記載がなく、かつ理由の記載がない場合となり「×」を記入します。
 環境報告書に記載のない理由等を記入します。

**【共通の評価手続】
明細表を使用する場合**

総括表

記載のない理由等

	記載の有無	重要な項目	記載していない理由	網羅性	正確性	実質性	中立性	備考()
基本的項目								
(1)経営責任者の緒言(総括及び誓約を含む)	有・無		有・無					
(2)報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野)	②無		—					
(3)事業の概況	有・無		有・無					
事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括								
(4)事業活動における環境配慮の方針	有・無		有・無					
(5)事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	有・無		有・無					
(6)事業活動のマテリアルバランス	有・無		有・無					
(7)環境会計情報の総括	有・無		有・無					
環境マネジメントに関する状況								
(8)環境マネジメントシステムの状況	有・無		有・無					
(9)環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況	有・無		有・無					
(10)環境に配慮した新技術等の研究開発の状況	有・無		有・無					
(11)環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	有・無		有・無					
(12)環境に関する規制遵守の状況	有・無		有・無					
(13)環境に関する社会貢献活動の状況	有・無		有・無					
事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況								
(14)総エネルギー投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(15)物質投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(16)水資源投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(17)温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策	有・無		有・無					
(18)化学物質排出量・移動量及びその低減対策	有・無		有・無					
(19)総製品生産量又は販売量	有・無		有・無					
(20)廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	有・無		有・無					
(21)総排水量及びその低減対策	有・無		有・無					
(22)輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策	有・無		有・無					
(23)グリーン購入の状況及びその推進方策	有・無		有・無					
(24)環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況	有・無		有・無					
社会的取組の状況								
(25)社会的取組の状況	有・無		有・無					

評価手順

網羅性の評価で検討した重要な項目を対象とします。
明細表を使用して細目別に「共通の評価手続」を実施します。必要に応じて「固有の評価手続」を実施します。(次ページ参照)
明細表の評価結果を総合的に判断します。

**【共通の評価手続】
明細表を省略する場合**

総括表

記載のない理由等

	記載の有無	重要な項目	記載していない理由	網羅性	正確性	実質性	中立性	備考()
基本的項目								
(1) 経営責任者の緒言(総括及び誓約を含む)	(有)無		—					
(2) 報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野)	有・無		有・無					
(3) 事業の概況	有・無		有・無					
事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括								
(4) 事業活動における環境配慮の方針	有・無		有・無					
(5) 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	有・無		有・無					
(6) 事業活動のマテリアルバランス	有・無		有・無					
(7) 環境会計情報の総括	有・無		有・無					
環境マネジメントに関する状況								
(8) 環境マネジメントシステムの状況	有・無		有・無					
(9) 環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況	有・無		有・無					
(10) 環境に配慮した新技術等の研究開発の状況	有・無		有・無					
(11) 環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	有・無		有・無					
(12) 環境に関する規制遵守の状況	有・無		有・無					
(13) 環境に関する社会貢献活動の状況	有・無		有・無					
事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況								
(14) 総エネルギー投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(15) 物質投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(16) 水資源投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(17) 温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策	有・無		有・無					
(18) 化学物質排出量・移動量及びその低減対策	有・無		有・無					
(19) 総製品生産量又は販売量	有・無		有・無					
(20) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	有・無		有・無					
(21) 総排水量及びその低減対策	有・無		有・無					
(22) 輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策	有・無		有・無					
(23) グリーン購入の状況及びその推進方策	有・無		有・無					
(24) 環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況	有・無		有・無					
社会的取組の状況								
(25) 社会的取組の状況	有・無		有・無					

評価手順

網羅性の評価で検討した重要な項目を対象とします。

手引きのP.23の「正確性」の評価手続の結果が適切であれば「」を記入します。

手引きのP.24の「実質性」の評価手続の結果が適切であれば「」を記入します。

手引きのP.25の「中立性」の評価手続の結果が適切であれば「」を記入します。

環境報告書の信頼性を高めるための 自己評価の手引き

資料編

自己評価のためのチェックリスト

総括表

記載のない理由等

	記載の有無	重要な項目	記載していない理由	網羅性	正確性	実質性	中立性	備考()
基本的項目								
(1) 経営責任者の緒言(総括及び誓約を含む)	有・無		有・無					
(2) 報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野)	有・無		有・無					
(3) 事業の概況	有・無		有・無					
事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括								
(4) 事業活動における環境配慮の方針	有・無		有・無					
(5) 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	有・無		有・無					
(6) 事業活動のマテリアルバランス	有・無		有・無					
(7) 環境会計情報の総括	有・無		有・無					
環境マネジメントに関する状況								
(8) 環境マネジメントシステムの状況	有・無		有・無					
(9) 環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況	有・無		有・無					
(10) 環境に配慮した新技術等の研究開発の状況	有・無		有・無					
(11) 環境情報開示、環境コミュニケーションの状況	有・無		有・無					
(12) 環境に関する規制遵守の状況	有・無		有・無					
(13) 環境に関する社会貢献活動の状況	有・無		有・無					
事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況								
(14) 総エネルギー投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(15) 物質投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(16) 水資源投入量及びその低減対策	有・無		有・無					
(17) 温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策	有・無		有・無					
(18) 化学物質排出量・移動量及びその低減対策	有・無		有・無					
(19) 総製品生産量又は販売量	有・無		有・無					
(20) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	有・無		有・無					
(21) 総排水量及びその低減対策	有・無		有・無					
(22) 輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策	有・無		有・無					
(23) グリーン購入の状況及びその推進方策	有・無		有・無					
(24) 環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況	有・無		有・無					
社会的取組の状況								
(25) 社会的取組の状況	有・無		有・無					

明 細 表 (2 5 項 目)

資料編

自己評価のためのチェックリスト

チェックリスト

(4)事業活動における環境配慮の方針

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	事業活動における環境配慮の方針(事業内容や製品・サービスの特性や規模、また、事業活動に伴う重大な環境負荷等に対応して適切なものであること)	有・無	
イ	制定時期、制定方法、全体的な経営方針等との整合性及び位置付け、コーポレート・ガバナンスとの関連	有・無	
ウ	事業活動における環境配慮の方針が意図する具体的内容、将来ビジョン、制定した背景等に関するわかりやすい説明	有・無	
エ	同意する(遵守する)環境に関する憲章、協定等の名称と内容	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	環境配慮の方針を定めている場合には、環境報告書の記載内容と照合する。	
	前期の環境報告書と比較して、環境配慮の方針が変わっている場合には、変更した理由について、関係者への質問により確かめる。	
	環境方針が事業者の最高経営会議またはこれに準じた会議において承認されたものであることを確かめる。	
	・	
	・	
	・	

チェックリスト

(6)事業活動のマテリアルバランス

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	事業活動に伴う環境負荷の全体像(事業活動への資源等に関するインプットの状況、事業活動からの製品及び商品等の提供又は廃棄物等の排出に関するアウトプットの状況、並びに廃棄物等の循環的な利用に関する状況等(事業活動のマテリアルバランス)について可能な限り図表等を活用して、わかりやすく、かつ、簡潔に記載する)	有:無	
イ	図等に、可能な場合は環境に配慮したサプライチェーンマネジメントや製品等のライフサイクル全体を踏まえた環境負荷を付け加える	有:無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	環境報告書に掲載されていない場合、掲載の無い理由について、関係者への質問により確認する。	
	実績値に関する基礎資料を入手し、領収書、請求書、会計伝票の数値や内容が正しく反映されていることを確かめる。	
	インプット数値の算定に使用した根拠資料を入手し、その正確性や妥当性について検証し、必要に応じて詳細な検証をすることにより数値等の信頼性を確かめる。	
	アウトプット数値の算定に使用した根拠資料を入手し、その正確性や妥当性について検証し、必要に応じて詳細な検証をすることにより数値等の信頼性を確かめる。	
	廃棄物等の循環的な利用に関する数値の算定に使用した根拠資料を入手し、その正確性や妥当性について検証し、必要に応じて詳細な検証をすることにより数値等の信頼性を確かめる。	
・		
・		
・		

チェックリスト

(9)環境に配慮したサプライチェーンマネジメント等の状況

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの方針、目標、計画等の概要	有・無	
イ	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの実績等の概要	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	サプライチェーンマネジメントに関する方針・基準・計画が全社的な承認を受けていることを確かめる。	
	サプライチェーンマネジメントに関する方針・基準・計画の記載内容が内部管理資料と一致していることを確かめる。	
	サプライチェーンマネジメントに関する実績等が記載されていれば、その根拠資料を入手し、その資料の妥当性を検討して、記載内容が適切であることを確かめる。	
	・ ・ ・	

チェックリスト

(10)環境に配慮した新技術等の研究開発の状況

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	環境に配慮した生産技術、工法等に関する研究開発の状況	有・無	
イ	製品・サービスの環境適合設計(DfE)等の研究開発の状況	有・無	
ウ	LCA(ライフサイクルアセスメント)手法を用いた研究開発の状況	有・無	
エ	環境に配慮した販売、営業方法の工夫、ビジネスモデル等	有・無	
オ	環境適合設計(DfE)等の研究開発に充当した研究開発資金	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	新技術等の研究開発についての関連資料と環境報告書の掲載内容とを照合する。	
	業界紙等の関連資料を閲覧し記載されている内容について確かめる。	
	関連資料で不足する点があれば、関係者への質問により確認する。	
	・	
	・	
	・	

チェックリスト

(11)環境情報開示、環境コミュニケーションの状況

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	環境報告書、環境ラベル等による環境情報開示の状況	有・無	
イ	主要な利害関係者との環境コミュニケーション等の状況(例えば調査の実施、地域住民との懇談会、定期的な訪問や報告、取引先との懇談会、ステークホルダー・ダイアログ、ニュースレター、利害関係者からの問い合わせへの対応等によるコミュニケーションの状況と種別ごとの回数)	有・無	
ウ	環境報告書又はサイト単位の環境レポートを発行している事業所の状況	有・無	
エ	環境関連展示会等への出展の状況	有・無	
オ	環境関連広告・宣伝の状況	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	環境コミュニケーションに関する手続が所定の基準に則っていることを質問により確かめる。	
	環境コミュニケーションに関する記録を入手し、その内容が記載内容と一致していることを確かめる。	
	情報開示及びコミュニケーションの状況について、関係者への質問により把握し、その内容が記載内容と一致していることを確かめる。	
	ホームページの閲覧を行い、公表されている情報と記載内容が一致していることを確かめる。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(12)環境に関する規制の遵守状況

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	事業活動との関係が強い重要な法規制等を遵守していることの確認方法(定期又は不定期の内部チェックの体制の内容)	有・無	
イ	少なくとも過去3年以内の重要な法規制等の違反の有無(重要な法規制違反、基準超過等につき規制当局から指導、勧告、命令、処分を受けた場合には、その内容、改善の現状、再発防止に向けた取組の状況、そうした事項がない場合には、その旨を記載)	有・無	
ウ	環境規制を上回る自主基準等を設定している場合は、その内容	有・無	
エ	環境ラベル、環境広告、製品環境情報等における違反表示、誤表示等の状況	有・無	
オ	環境に関する罰金、料料等の金額及び件数	有・無	
カ	環境関連の訴訟を行っている又は受けている場合は、その内容及び対応状況	有・無	
キ	環境に関する苦情や利害関係者からの要求等の内容及び件数(騒音及び振動、悪臭等に対する苦情等の状況を含む)	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	関連法規制等登録簿と照合し記載内容が問題のないことを確かめる。	
	官庁への届出、報告資料を閲覧、照合し、記載内容が正しいことを確かめる。	
	サンプリングによる環境負荷データを視認し、その結果が正確に反映されていることを確かめる。	
	環境負荷データに関して計量士へ問い合わせをするなどし、データが正しく反映されていることを確かめる。	
	監視測定データに関する資料を入手し、そのデータが正しく反映されていることを確かめる。	
	廃棄物業者の契約書及び許可書の写しを入手し、その内容が記載されていれば正しく反映されていることを確かめる。	
	法規制に対する違反、罰金、事故、苦情等がある場合には、関連資料を入手し、網羅的に記載されていることを確かめる。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(13)環境に関する社会貢献活動の状況

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	従業員の有給ボランティア活動の状況	有・無	
イ	加盟又は支援する環境保全に関する団体(NPO、業界団体等)	有・無	
ウ	環境保全を進めるNPO、業界団体への支援状況、支援額、物資援助額等	有・無	
エ	地域社会に提供された環境教育プログラムの状況	有・無	
オ	地域社会と協力して実施した環境・社会的活動の状況	有・無	
カ	利害関係者と協力して実施した、上記以外の活動の状況	有・無	
キ	環境保全活動に関する表彰の状況	有・無	
ク	緑化、植林、自然修復等の状況	有・無	
ケ	生物多様性の保全に関する取組の状況	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	社会貢献活動の状況について、関係者への質問により確認する。	
	表彰に関する賞状、商品等の現物の確認を行う。	
	環境会計データとの整合性の照合を行う。	
	寄付等の支出に関する領収書、契約書が正しく反映されていることを確かめる。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(14)総エネルギー投入量及びその低減対策

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	総エネルギー投入量及びその低減対策	有・無	
イ	投入エネルギーの内訳(種類別及び購入・自家発電の別)	有・無	
ウ	新エネルギー利用の状況	有・無	
エ	エネルギー生産性及びその向上対策	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2.3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、総エネルギー投入量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(15)総物質投入量及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	総物質投入量(又は主要な原材料等の購入量、容器包装を含む)及びその低減対策	有・無	
イ	資源の種類別投入量	有・無	
ウ	資源生産性及びその向上対策	有・無	
エ	循環利用量及び循環利用率、循環利用率の向上対策	有・無	
オ	製品・商品以外の消耗品等として消費する資源(容器包装のための資材を除く)の量	有・無	
カ	企業等の内部で循環的な利用がなされている物質	有・無	
キ	自ら所有する資本財として設備投資等に投入する資源の量	有・無	
ク	請け負った土木・建築工事等に投入する資源の量	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例	「第4章 2.3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、総物質投入量を評価する。	
示		
.		
.		
.		

チェックリスト

(16)水資源投入量及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	水資源投入量及びその低減対策	有・無	
イ	水資源投入量の内訳	有・無	
ウ	事業者内部での水の循環的利用量及びその増大対策	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2.3) 事業活動における環境負荷量の評価手続」により、水資源投入量を評価する。	
・		
・		
・		

チェックリスト

(17)温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	温室効果ガス排出量及びその低減対策	有・無	
イ	二酸化炭素排出量	有・無	
ウ	温室効果ガスの種類別内訳	有・無	
エ	排出活動源別の内訳	有・無	
オ	京都メカニズムを活用している場合には、その内容、削減量	有・無	
カ	硫黄酸化物(SOx)排出量(トン)及びその低減対策	有・無	
キ	窒素酸化物(NOx)排出量(トン)及びその低減対策	有・無	
ク	排出規制項目排出濃度及びその低減対策	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例	「第4章 2.3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、温室効果ガス等の大気への排出量を評価する。	
示		
.		
.		
.		

チェックリスト

(18)化学物質の排出量・移動量及びその管理の状況

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	化学物質の排出量・移動量及び管理状況	有・無	
イ	大気汚染防止法の有害大気汚染物質のうち指定物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン)の排出濃度	有・無	
ウ	土壌・地下水・底質汚染状況(ストック汚染)	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2. 3) 事業活動における環境負荷量の評価手続」により、化学物質排出量・移動量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(19)総製品生産量又は総商品販売量

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

共通の評価手続

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	総製品生産量又は総商品販売量	有・無	
イ	容器包装使用量	有・無	
ウ	主要な製品及び商品並びに容器包装の回収量	有・無	
エ	環境ラベル認定等製品の生産量又は販売量	有・無	

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続

評価結果

例示	「第4章 2. 3) 事業活動における環境負荷量の評価手続」により、総製品生産量または販売量を評価する。 経理部から関連資料を入手し、その記載内容の正確性について確かめる。 決算書や有価証券報告書等の公表されている情報との整合性を確かめる。	
・		
・		
・		

チェックリスト

(20)廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル対策に関する方針、計画の概要	有・無	
イ	拡大生産者責任に対する対応	有・無	
ウ	廃棄物の総排出量及びその低減対策	有・無	
エ	廃棄物最終処分量及びその低減対策	有・無	
オ	廃棄物等の処理方法の内訳	有・無	
カ	廃棄物等総排出量の主な内訳	有・無	
キ	事業者内部で再使用された循環資源の量	有・無	
ク	事業者内部で再生利用された循環資源の量	有・無	
ケ	事業者内部で熱回収された循環資源の量	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2.3) 事業活動における環境負荷量の評価手続」により、廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(21)総排水量及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	総排水量及びその低減対策	有・無	
イ	排出先の内訳(公共用水域、下水道等)	有・無	
ウ	排水の水質(BOD又はCOD)及びその低減対策	有・無	
エ	窒素、燐排出量及びその低減対策	有・無	
オ	排水規制項目排出濃度及びその低減対策	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2.3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、総排水量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(22)輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策

記載の有無のチェック		重要な項目で記載がない場合のコメント等	
番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	物流全般における環境負荷低減対策の方針及び計画の概要	有・無	
イ	総輸送量及びその低減対策	有・無	
ウ	輸送に伴うCO2排出量及びその低減対策	有・無	

共通の評価手続		
共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続		評価結果
例示	「第4章 2.3) 事業活動における環境負荷量の評価手続」により、輸送に係る環境負荷量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(23)グリーン購入の状況及びその推進方策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	グリーン購入・調達状況	有・無	
イ	グリーン購入・調達の方針、目標、計画	有・無	
ウ	グリーン購入・調達の実績	有・無	
エ	環境配慮型製品・サービス等の購入量又は金額	有・無	
オ	低公害車、低燃費車の導入台数及び保有台数	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例示	グリーン調達基準の入手と内容の吟味を行う。	
	グリーン購入対象品目・相手先リストを入手し、グリーン調達基準への準拠性を確かめる。	
	関連資料で不足する点があれば、関係者への質問により確かめる。	
	グリーン調達品による上流での環境負荷量を掲載している場合には、「第4章 2. 3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、環境負荷量を評価する。	
	環境負荷の低減量を掲載している場合には、「第4章 2. 3)事業活動における環境負荷量の評価手続」により、商品、サービスの環境負荷低減量を評価する。	
.		
.		
.		

チェックリスト

(24)製品・サービスのライフサイクルでの環境負荷の状況及びその低減対策

記載の有無のチェック

重要な項目で記載がない場合のコメント等

番号	記載することが望ましいと考えられる情報(環境報告書ガイドライン2003年度版)	記載の有無	備考()
ア	環境負荷低減に資する製品・サービス等の生産量又は販売量及び全体に占める割合、それによる環境保全効果の概要	有・無	
イ	省エネルギー基準適合製品数	有・無	
ウ	解体、リサイクル、再利用又は省資源に配慮した設計がされた製品数	有・無	
エ	主要製品のライフサイクル全体からの環境負荷の分析評価(LCA)の結果	有・無	
オ	製品群毎のエネルギー消費効率	有・無	
カ	製品の使用に伴うCO2排出総量(当年出荷製品全体の推計及び主要製品のCO2排出係数)	有・無	
キ	製品群毎の再利用・再生利用可能部分の比率	有・無	
ク	使用済み製品、容器・包装の回収量	有・無	
ケ	回収した使用済み製品、容器・包装の再使用量、再生利用量、熱回収量及び各々の率	有・無	

共通の評価手続

共通の評価手続の評価結果		
正確性	実質性	中立性

固有の評価手続

固有の評価手続		評価結果
例	環境負荷低減に資する製品・サービス等の記載について、すでに公表している情報等と一致していることを確かめる。	
示	環境負荷低減に資する製品・サービス等のパンフレット等入手し、記載内容が適切であることを確かめる。	
	業界紙等の関連資料も閲覧する。	
.		
.		
.		

